

「事例の作成・提出」について

＜事例の提出期間＞

(受講決定通知メール受理后) 令和7年6月30日(月)～8月8日(金)17時必着

注) 期限を守らない場合、受講は不可となります。

【更新研修 B2】では、各事例テーマの科目における「疾患別ケア」の内容を踏まえ、各自が提出した事例の分析、発表、意見交換等を通じて、適切なアセスメントを行う際の留意点や居宅サービス計画の作成等における留意点を理解、再確認することを目的とし、演習を行います。

これにより、「適切なケアマネジメント手法」に基づく事例テーマ(5テーマ)のうち、

1つの事例テーマについて、指定様式 A-1 (事例概要)を作成し、提出してください。提出する事例テーマは、希望を考慮した上で実施機関が決定し、受講決定通知メール送付時に(6月30日(月))ご連絡します。

なお、自身が事例を提出しない他の事例テーマ(※を含む全7テーマ)の演習では、各自が担当している(又は担当していた)事例をその場で思い浮かべながら進めていきます。

＝事例テーマ＝

| | |
|-----|--------------------------|
| ④-2 | 脳血管疾患のある方のケアマネジメント |
| ④-3 | 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント |
| ④-4 | 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント |
| ④-5 | 心疾患のある方のケアマネジメント |
| ④-6 | 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント |

※④-7 看取り等における看護サービスの活用に関する事例

④-8 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント

＜事例テーマの選択・決定方法＞ *10頁参照

受講申込時に、5つの事例テーマ(④-2～④-6)のうちご自身が提出を希望されるテーマを選択し入力してください。

※テーマを問わず(いずれのテーマでも)提出可能な場合は、項目の「5テーマ全てで可能」にもチェック

作成・提出いただく事例テーマは、希望を考慮した上で実施機関が決定し、受講決定通知メール送付時に(6月30日(月))あわせてご連絡します。

＜様式の作成方法＞

- ① ホームページ掲載の「個人情報の取扱いについて」、「指定様式 A-1 (事例概要) 記入例」を熟読
- ② 受講決定通知メールにて(6月30日(月)送付)、自身が作成する事例テーマを確認
- ③ ホームページ掲載の「指定様式 A-1 (事例概要) (エクセルシート)」をダウンロード、入力又は手書き

* 指定様式は、「居宅サービス計画書」、「介護予防サービス・支援計画書」、「施設介護サービス計画書」等をもとに作成。

* 13頁の「各事例テーマ(④-2～④-6)に関するキーワード一覧」を参考にし、内容が当該テーマに沿っているかを確認のこと。

* 現在介護支援専門員として実務に就いていない方は、過去に担当された事例を思い起こし、指定様式を作成。

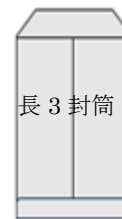
《事例の提出方法》

実施機関から指定された事例テーマについて、指定様式 **A-1**（事例概要）を作成し、コピーを郵送し提出してください。注意！原本は手元に控えておくこと。

- ①送付用宛先(14頁)を切り取り、「長3封筒」に貼付
- ②書類に不備がないか再度確認し、送付用宛先にチェックを記入
- ③封筒裏面に、「自宅住所」・「受講番号」・「氏名」を明記

注) ・郵送時に、郵便物等がいつ事務局に届くか、郵送日数を確認してください。

・期限を守らない、指定通り申し込みがなされない場合、申込みは受け付けません。



《各事例テーマ（④-2～④-6）に関するキーワード一覧》

2 脳血管疾患のある方のケア

脳血管疾患、目標血圧、室内気温の調整、気温差の改善、高脂血症の管理、糖尿病等の管理、服薬支援、脱水予防、機能訓練、障害の受容、活動と参加、コミュニケーション能力、言語訓練、コミュニケーション手段の検討、役割、リスク管理、食事と栄養、転倒の予防、セルフマネジメント、地域連携パス（クリティカルパス）、レスパイト、フレイル

3 認知症のある方のケア

認知症、本人を取り巻く人との関係性、意思決定支援、かかりつけ医や専門職等、役割の継続、リハビリテーション、コミュニケーション、清潔に関する状況、服薬管理、水分の摂取、排せつの支援、活動と参加、転倒の予防、誤嚥の予防、行動・心理症状、MCI（軽度認知障害）、若年性認知症、地域連携パス（クリティカルパス）、認知症初期集中支援チーム、認知症サポーター、パーソン・センタード・ケア

4 大腿骨頸部骨折のある方のケア

大腿骨頸部骨折、転倒予防、骨粗鬆症の予防、服薬管理支援、継続的な受診、運動・活動の支援、歩行機能訓練、リハビリテーションの継続、ADL・IADLの回復、日常生活環境の評価、食事と栄養の確保、室内環境、セルフマネジメント、フレイル、地域連携パス（クリティカルパス）

5 心疾患のある方のケア

心疾患、虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）、心臓弁膜症、急性心不全、慢性心不全、再入院の予防、服薬支援、併存疾患の把握、リスク評価、体重の管理、塩分量・水分量のコントロール、血圧の管理、急性増悪の予防、感染症の予防、気温差の縮小、リハビリテーションの実施、入浴習慣の支援、休養・睡眠の支援、禁煙の支援、EOL(エンドオブライフ)に向けた準備、地域連携パス（クリティカルパス）

6 誤嚥性肺炎の予防のケア

誤嚥性肺炎の予防、不顕性誤嚥、誤嚥リスクの評価、かみ合わせ、咀嚼、義歯、咳、呼吸、口腔ケア、摂食嚥下機能、口腔乾燥、フレイル予防、地域連携パス（クリティカルパス）

〈本研修に関する問合せ先〉 9時～17時（土・日・祝日を除く）

特定非営利活動法人 静岡県介護支援専門員協会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階

電話 054-252-9882 FAX 054-252-9884

研修用 e-mail shizucm-kensyu@yr.tnc.ne.jp